

## 「がんの家族歴」に関する問診票

受診日 年 月 日

がんの中には、生まれつきの体質（遺伝的な要因）が関係して発症すると考えられているものがあります。がんの家族歴を知ること、「遺伝するがん」の可能性（必ずしも皆が発症するわけではありません）を知ることができます。また、血縁者がこのような体質を持っている場合には、がんの種類によってはご自身や血縁者のリスクに応じた検診を受けて、がんの早期発見や早期治療に繋がられる可能性があると考えられています。

この問診票だけで「遺伝するがん」であるかどうかを正確に判断することはできませんが、血縁のある親族の方のがんの有無についての情報は、がん遺伝子検査外来での今後の診療のためにたいへん参考になります。以下にご記入の上、がん遺伝子検査外来受診時にご提供をお願いいたします。

お名前：	年齢：	才	生年月日：	年	月	日
------	-----	---	-------	---	---	---

血縁のある方のがんと診断された方がいらっしゃいますか？ いる いない

「いる」と回答した場合には以下に記載してください。

続柄	がんの種類	がんと診断された年齢

ご不明な点、ご相談したい内容がありましたら、余白に記入してください。